

第38回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン推進委員会（書面開催）

報告事項及び議案の概要説明

報告事項1 第37回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施結果の報告

【概要】

昨年度のキャンペーン実施結果の概要になります。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年に比べて街頭活動の縮小・自粛が多かった一方、多くの団体でホームページやSNS、デジタルサイネージ等が活用されました。

報告書全文は東京都都民安全推進本部ホームページに掲載しましたのでご確認下さい。

(第37回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン報告書 掲載ページ)

<https://www.tomin-anken.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/pdf/koutuu/pdf/02houkokusyo.pdf>

報告事項2 令和2年度 駅前放置自転車対策事業に関する知事感謝状の贈呈実績

【概要】

地域で放置自転車対策に貢献している個人・団体について、毎年度、区市町村から推薦をいただき、選考の上、感謝状を贈呈しています。昨年度は個人1名と2団体に贈呈しました。

報告事項3 「駅前放置自転車等の現況と対策—令和2年度調査—」について

【概要】

例年、区市町村や関係団体のご協力により実態調査を実施し公表しています。調査内容は各駅の放置状況や自転車等駐車場の整備状況、放置自転車等の撤去状況等です。

今回の調査では、都内の駅周辺における放置自転車の台数は19,487台まで減少し、東京都自転車安全利用推進計画に掲げた目標(2万台以下)を達成することができました。

調査結果の全文は、東京都 都民安全推進本部ホームページに掲載していますのでご確認下さい。

(都内における駅前放置自転車の現況 掲載ページ)

<https://www.tomin->

[anken.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/kakusyutaisaku/jitensha/houchi/jitensha-](https://www.tomin-anken.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/kakusyutaisaku/jitensha/houchi/jitensha-)

[3/index.html#k01](https://www.tomin-anken.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/kakusyutaisaku/jitensha/houchi/jitensha-3/index.html#k01)

報告事項4 駅前放置自転車クリーンキャンペーン標語に係る応募状況及び選考について

【概要】

昨年度の推進委員会での承認に基づき、キャンペーンで使用する統一標語を公募しました。募集に当たっては、推進委員会の各関係機関・団体にも周知にご協力をいただき、前回の応募作品数634点をはるかに上回る1,440点もの応募がありました。

応募作品について、推進委員会設置要綱に基づく標語選定委員会による選考を実施しました。(大賞及び各賞候補作品は議案1に提示)

報告事項5 東京都自転車安全利用推進計画の改定について

【概要】

東京都は、令和3年5月、「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づく「東京都自転車安全利用推進計画」を改定しました。改定にあたり「東京都自転車安全利用推進計画協議会」における協議や都民等からも広く意見を募集しました。

なお、改定計画では、都内における駅前放置自転車の台数について、令和7年までの目標を15,000台以下(令和2年は19,487台)にすることとしています。

議案1 駅前放置自転車クリーンキャンペーン標語選定委員会 選考結果

【概要】

報告事項4における応募作品の選考に基づく大賞等各賞の候補作品になります。

なお、大賞の作品は今年度の第38回キャンペーン統一標語となる予定です。

議案2 第38回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施大綱(案)

【概要】

今年度のキャンペーン実施に向けて、目的、実施内容・時期、実施計画書の作成方法等について定めるものです。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に関して、キャンペーンでの活動における感染防止対策の必要性を記載しました。[実施大綱(案)5(3)]

議案3 第38回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施計画策定要領(案)

【概要】

推進委員会による実施大綱の承認後、推進委員会各団体に実施計画策定を依頼するための案文になります。

議案4 駅前放置自転車クリーンキャンペーン標語の継続使用について

【概要】

キャンペーンの統一標語(議案1における大賞作品)について、来年度(令和4年度第39回)のキャンペーンにおける使用可否について定めるものです。

第 3 7 回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施結果（概要）

- 1 実施期間：令和 2 元年 1 0 月 2 2 日（木）から 1 0 月 3 1 日（土）までの 1 0 日間
- 2 実施主体：東京都、区市町村（島しょを除く。）、国土交通省、警視庁、東京消防庁、J R 東日本、私鉄各社、バス・タクシー事業団体、商工業団体、高齢者団体、障害者団体、消費者団体、学校関係団体、交通安全普及団体等

3 統一標語：「放置ゼロ キレイな街で おもてなし」

4 活動結果

(1) 広報活動

放置自転車問題を広く都民に訴えるため、各機関・団体がそれぞれの役割に応じて多様な広報媒体を活用して広報活動を実施した。

ア 印刷物の掲示・配布

- ・ポスター 都：40,495 枚作成
J R・民鉄・都営交通駅構内、バス営業所（646 箇所、1,119 枚）、
電車・バス車内（17,196 箇所、17,793 枚）、学校、関係機関・団体（4,060 枚）
等に掲示
- ・リーフレット 都：214,322 枚、区市町村：2,200 枚作成
通勤・通学等自転車利用者、学校等に配布
- ・注意・警告札 68,635 枚 放置自転車に取付け
- ・広報紙、機関紙等 6,556,030 部 区市町、鉄道・バス会社、交通安全協会、商工業団体他

イ PR 用品等

- ・看板 11 枚 2 区
- ・横断幕 23 枚 4 区、3 市
- ・のぼり旗、活動品 585 枚 5 区、11 市

ウ その他の媒体

広報車、駅構内放送、庁内放送、防災無線放送、FM 放送、ケーブルテレビ、商店街放送、デジタルサイネージ、公式ホームページ、SNS、メールマガジン、バス車内広告

(2) 駅頭広報・撤去活動

- | | | |
|----------------|---------|----------------------------------|
| 広報実施駅数：実数 | 76 駅 | （区部 47 駅、市部 28 駅、町村部 1 駅） |
| 延日数 | 305 日 | （区部 147 日、市部 149 日、町村部 9 日） |
| 撤去実施駅数：実数 | 421 駅 | （区部 289 駅、市部 131 駅、町村部 1 駅） |
| 延日数 | 1,356 日 | （区部 811 日、市部 536 日、町村部 9 日） |
| 撤去台数： | 6,174 台 | （区部 5,477 台、市部 689 台、町村部 8 台） |
| 広報・撤去活動参加人員：延べ | 7,291 人 | （区部 3,847 人、市部 3,426 人、町村部 18 人） |
| 自動車動員台数：延べ | 1,640 台 | （広報車 31 台、トラック 1,606 台、その他 3 台） |

5 首都圏放置自転車対策協議会の活動

同協議会加盟の 3 県 5 政令都市（埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、さいたま市）において、クリーンキャンペーンを協力して実施した。

令和2年度 駅前放置自転車対策事業に関する知事感謝状の贈呈実績

地域の放置自転車対策事業に積極的に協力し、貢献している方々に対して、知事名による感謝状を贈呈しました。

【概要】

(1) 贈呈日：令和2年9月3日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、贈呈式は実施せず、後日、感謝状と記念品を送付させていただきました。

(2) 被贈呈者：個人1名、2団体

	被 贈 呈 者 (敬称略)		主 な 功 勞 内 容
個人	ぎま のりかず 儀間 憲和	八王子市	八王子市内駅前放置自転車の整理・撤去等
団体	株式会社カワタケ	調布市	仙川駅周辺における駐輪場の設置
	公益社団法人 武蔵村山市シルバ ー人材センター	武蔵村山市	武蔵村山市周辺における駐輪場の維持管理

「駅前放置自転車等の現況と対策—令和2年度調査—」について
— 調査結果の概要 —

※自転車等・・・自転車及び原動機付自転車

※自転車等駐車場・・・自転車、原動機付自転車及び自動二輪車の駐車場で、不特定多数の者が利用可能なもの

都内の駅周辺（駅から概ね半径 500m以内の区域）における自転車、原付及び自二を含む乗入台数（放置台数と自転車等駐車場の駐車台数の合計）は 539,998 台でした。このうち、自転車の乗入台数は 522,409 台で、**96.3%(502,922 台)**が自転車等駐車場に駐車され、残りの**3.7%(19,487 台)**が路上などに放置されていました。

(1) 自転車、原動機付自転車及び自動二輪車の放置台数

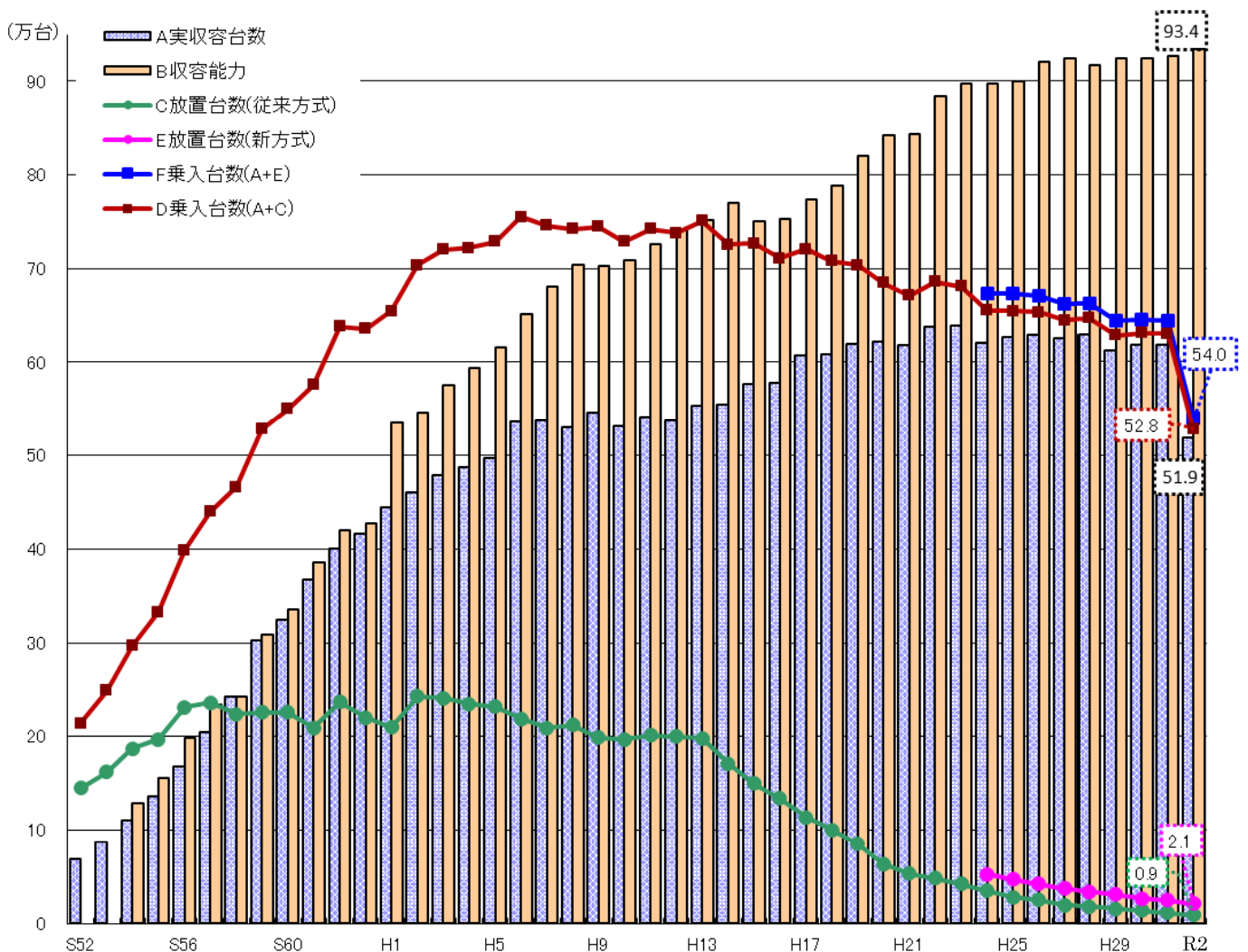
自転車、原付及び自二の放置台数は、**21,035 台**（前年度比 **3,973 台減**）でした。

うち、自転車だけの放置台数は、**19,487 台**（前年度比 **3,835 台減**）でした。

(2) 自転車の放置率（乗入台数に占める放置台数の割合）・・・区部 5.6%、市部 0.8%、町村部 0.2%

自転車の放置率は区部が高く、高い順に、千代田区 41.7%、渋谷区 32.1%、港区 25.6%、台東区 23.9%、文京区 19.3%、でした。

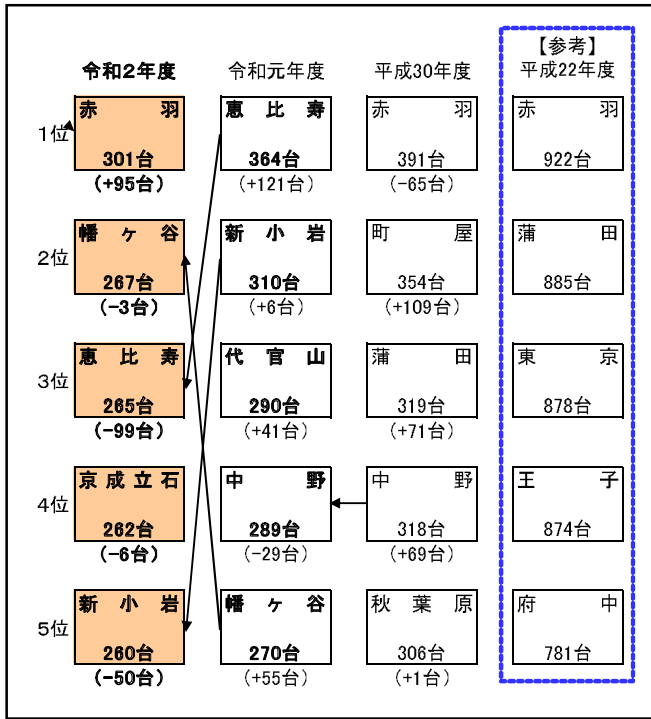
【図-1】 放置台数・実収容台数・収容能力・乗入台数推移（自転車、原付及び自二を含む。）



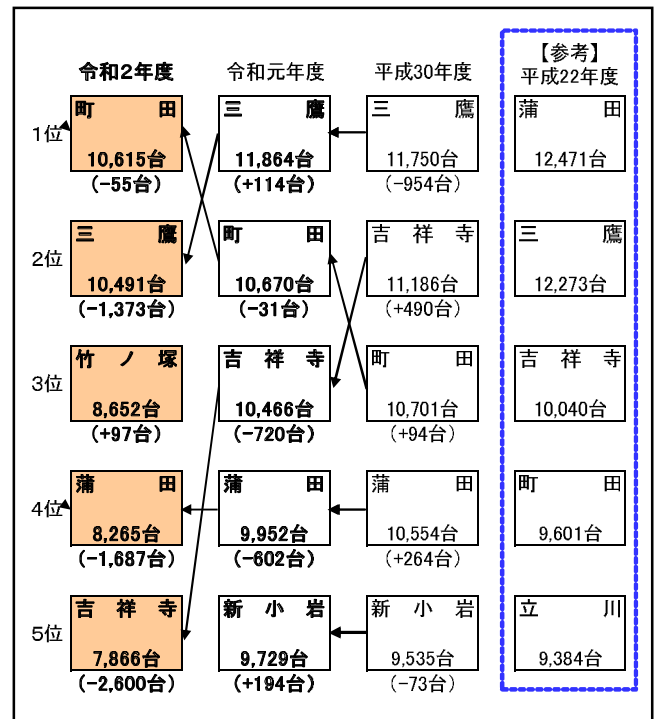
放置台数が上位の駅においても、年々、放置台数は減少する傾向にあります。

- (1) 放置台数が多い駅 図-2参照
- (2) 乗入台数が多い駅 図-3参照

【図-2】 放置台数が多い駅の推移



【図-3】 乗入台数が多い駅の推移



良好な交通環境を整備するとともに街の美観を確保するため、区市町村をはじめ鉄道・バス事業者、警察、商工関係団体等と連携しながら放置自転車対策に取り組んでいます。

(1) 自転車等駐車場の設置等

令和元年度における区市町村の投資的経費（自転車等駐車場の整備等に要する経費）は、**約38.4億円**（30年度比**約6.7億円増**）でした。

(2) 自転車等駐車場の維持管理・放置自転車の撤去等

令和元年度における区市町村の消費的経費（自転車等駐車場の維持管理や放置自転車等の撤去等に要する経費）は、**約151.2億円**（30年度比**約2.4億円増**）でした。そのうち、放置自転車の撤去、保管及び返還に要する経費は、**約43.7億円**でした。

(3) 都内6区との協働体制

駅前放置自転車の多い6区（千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区）と放置自転車対策協議会を開催し、各区のノウハウを共有するなど放置自転車対策の一層の推進を図りました。

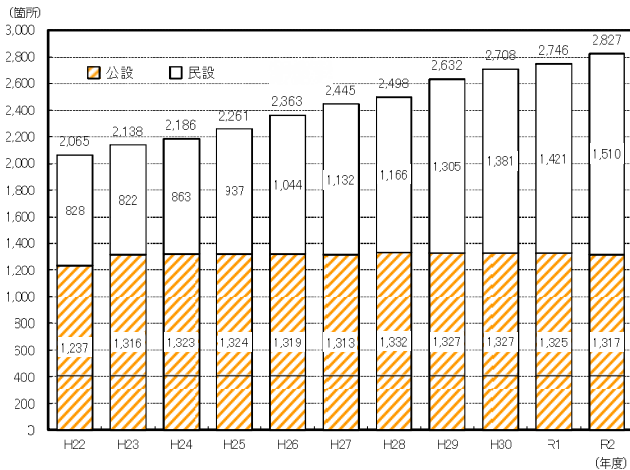
(4) 駅前放置自転車クリーンキャンペーン

令和2年10月の「駅前放置自転車クリーンキャンペーン」では、都内各駅で放置防止を呼びかける啓発活動のほか、ポスターの掲出やウェブ広告、街頭ビジョンを活用した広報活動を展開しました。さらにキャンペーン期間中は、区市町村による放置自転車の撤去を積極的に実施しました。

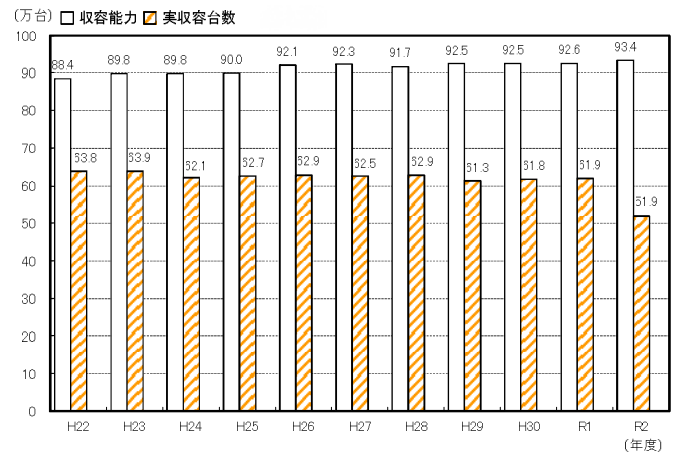
- ・駅前等での広報啓発活動：76駅、延べ305日活動
- ・ポスター掲出枚数（都作成分）：約4万枚
- ・リーフレット配布枚数（都作成分）：約21万4千枚
- ・撤去活動実施：405駅

- (1) 令和2年8月末日現在、駅周辺の自転車等駐車場は、**2,827箇所**（前年度比**81箇所増**）でした。そのうち公設は**1,317箇所**（前年度比**8箇所減**）、民設は**1,510箇所**（前年度比**89箇所増**）でした。近年は、民間事業者による自転車等駐車場の設置が増加しています。
- (2) 収容能力は、**933,764台**（前年度比**7,445台増**）、実収容台数は、**518,963台**（前年度比**99,854台減**）でした。

【図-4】設置者別自転車等駐車場数の推移

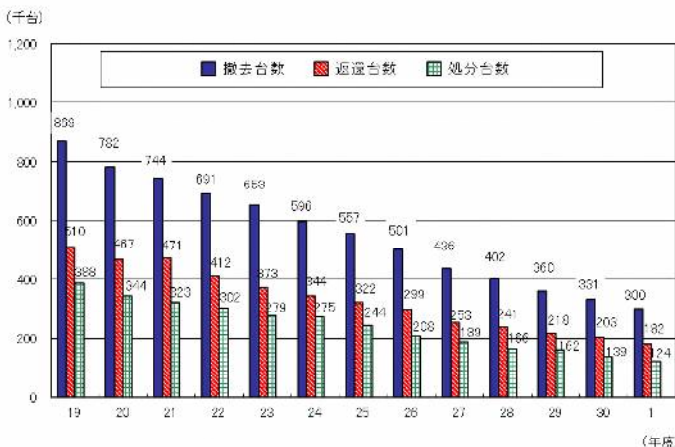


【図-5】収容能力及び実収容台数の推移

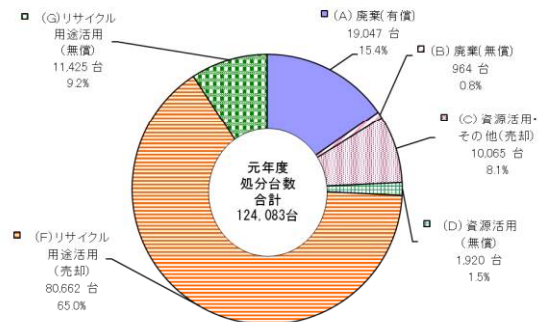


- (1) 令和元年度に区市町村が撤去した放置自転車等：**300,090台**（30年度比**30,967台減**）
- (2) 令和元年度に持ち主に返還された台数：**181,859台**（30年度比**21,359台減**）
- (3) 令和元年度に区市町村が処分した台数：**124,083台**（30年度比**14,421台減**）
- ※ 返還台数、処分台数には、平成30年度中に撤去されたものを含みます。

【図-6】放置自転車等の撤去・返還・処分台数の推移



【図-7】撤去自転車及び原動機付自転車の処分内訳



- ・廃棄処分 (A+B)：20,011台 (16.1%)
- ・鉄くずとして資源活用 (C+D)：11,985台 (9.7%)
- ・リサイクル用途 (F+G)：92,087台 (74.2%)

駅前放置自転車クリーンキャンペーン標語に係る 応募状況及び選考について

1 募集について

(1) 募集内容

駅前放置自転車クリーンキャンペーンで使用する標語

(2) 応募要領等

ア 応募期間 令和3年4月12日（月曜日）から5月7日（金曜日）まで

イ 応募資格 東京都内在住、在勤、在学の方

ウ 応募要領

<標語に求められる内容>

- 自転車を放置しないよう、都民の行動を促す呼びかけであること
- ポスター、リーフレット、動画など各種広報で活用しやすいもの
- 不特定多数の人の目に触れるものとして、不快に感じる表現でないこと

<応募点数>

ひとりにつき何点でも応募可

<応募方法>

特設サイトの応募フォームまたは郵送

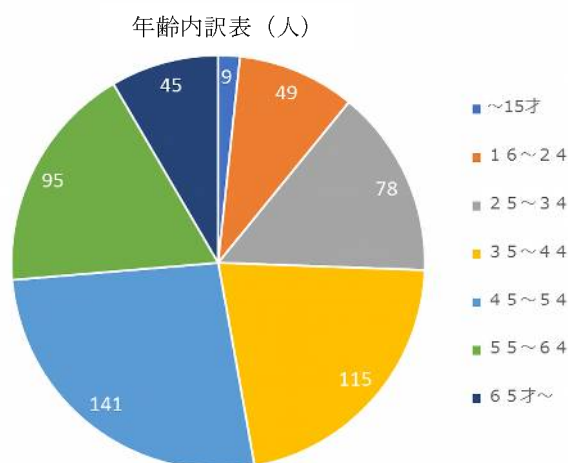
<注意事項>

- 応募者本人が考案した標語であり、未発表のもので他のコンテスト等への応募又は発表予定のないものに限る。
- 受賞作品の著作権（著作権法第27条及び第28条に定める権利を含む。）、その他一切の権利を東京都に無償で譲渡するものとする。また、受賞者は作品の著作者人格権（公表権、氏名表示権及び同一性保持権）を行使することはできない。

等

(3) 応募状況

応募者532人、応募総数1,440作品



ジュニア部門賞の対象（15歳以下）： 9人、 30作品

シニア部門賞の対象（65歳以上）： 45人、 134作品

<属性>

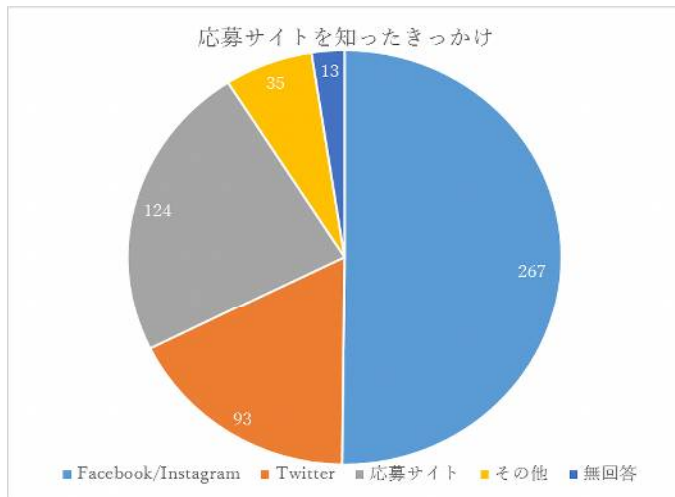
	人数	割合
都内在住	458	86.1%
在勤	63	11.9%
在学	11	2.0%

<応募サイトを知ったきっかけ>

Twitter : 93名

Facebook : 267名

その他 : 159名 (関係者からのメール、家族、知人から、ラジオ (都民ニュース) 等)



2 標語選定委員会

(1) 開催期間

令和3年5月17日(月)から5月24日(月)まで(書面開催)

(2) 標語選定委員会

別紙「駅前放置自転車クリーンキャンペーン標語選定委員会委員名簿」のとおり

(3) 選定した入賞区分

以下の区分に応じて受賞候補作品を選定

①大賞 1作品

応募作品の中で最も優れた作品を選定。キャンペーンの統一標語として使用

②優秀賞 3作品

応募作品の中で優れた作品を選定。

③ジュニア部門賞 1作品

15歳以下※の方の応募作品の中で優れた作品を選定。

④シニア部門賞 1作品

65歳以上※の方の応募作品の中で優れた作品を選定。

※応募締切(令和3年5月7日)時点での年齢

(4) 選定方法

① 応募作品1,440点について予備選考を実施し、「大賞・優秀賞候補」11点、「ジュニア部門賞候補」6点、「シニア部門賞候補」5点を選定

② 各賞候補作品について、選定委員会委員による投票を実施し、点数により順位づけ。

③ 「大賞・優秀賞候補」のうち、最も順位が高かった作品1点を大賞候補、2位から4位までの作品3点を優秀賞候補とした。

④ 「ジュニア部門賞候補」「シニア部門賞候補」については、最も順位が高かった作品各1点を各賞候補とした。

(5) その他

標語選定委員会後、事務局で改めて応募要領に基づく応募資格等の確認を行い、各賞候補作品が要件を満たしていることを確認した。

駅前放置自転車クリンキャンペーン標語選定委員会

委員名簿

推進委員会設置要綱第8に規定

令和3年5月17日現在

区分	関係機関・団体名	役職	氏名（敬称略）
委員長	東京都都民安全推進本部	治安対策担当部長	斎田 ゆう子
別表1の1 区代表	墨田区	都市整備部土木管理課長	吉田 優司
別表1の1 市代表	狛江市	都市建設部道路交通課長	遠藤 克哉
別表1の2 鉄道・バス等事業者代表	(一社)日本民営鉄道協会（関東鉄道協会）	運輸調整部業務二課長	落合 真理子
別表1の3 商工業団体代表	東京都商工会連合会	事務局長	清水 晋
別表1の4 交通安全普及団体等代表	(一社)日本二輪車普及安全協会	事務局長	志村 正夫
別表3 代表	東京都都民安全推進本部	総合推進部交通安全課長	串田 治城
	東京都都民安全推進本部	総合推進部違法駐車対策担当課長	嶋貫 裕子
	東京都都民安全推進本部	総合推進部交通安全対策担当課長	川嶋 泰雄
首都圏放置自転車対策協議会代表	東京都都民安全推進本部	総合推進部交通安全対策担当課長	村上 卓郎
	埼玉県	県民生活部防犯・交通安全課長	菅原 誠

(プレス発表資料)

令和3年5月21日

都民安全推進本部

「東京都自転車安全利用推進計画」を改定しました

東京都は、「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づく「東京都自転車安全利用推進計画」を改定しました。

本計画に基づき、行政、自転車利用者だけでなく、事業者等も含めた、自転車の安全利用に向けた社会全体の取組をより一層推進します。

1 計画期間

令和3年度から令和7年度まで

2 数値目標（令和7年までに）

- 自転車乗用中死者数 : 18人以下（令和2年：34人）
- 自転車事故発生件数 : 7,000件以下（令和2年：10,407件）
- 駅前放置自転車台数 : 15,000台以下（令和2年：19,487台）



3 計画本文

本文は、都民安全推進本部のホームページからご覧いただけます。

<https://www.tomin-anzen.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/keikaku/jitensya-suishin/>

【参考】改定東京都自転車安全利用推進計画の概要（別紙）

4 意見募集の結果

本計画の策定にあたり、お寄せいただいた主なご意見の概要は、都民安全推進本部のホームページ（上記URL・二次元バーコード）からご覧いただけます。

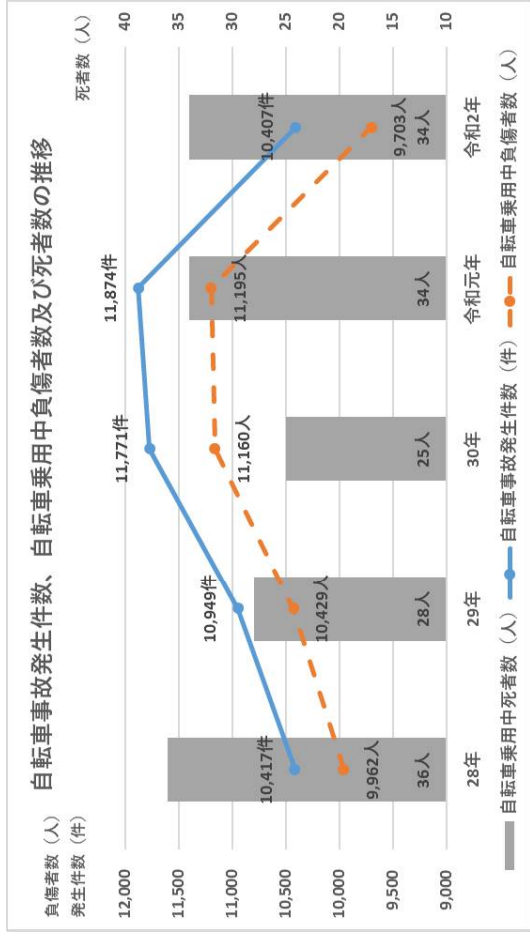
本件は、『『未来の東京』戦略』を推進する事業です。
戦略8 安全・安心なまちづくり戦略
「交通事故から都民を守るプロジェクト」

【問合せ先】

都民安全推進本部総合推進部
交通安全課 担当：串田
直通：03-5388-3123 内線：21-781

改定東京都自転車安全利用推進計画の概要について

- 自転車事故発生件数及び自転車乗用中負傷者数は増加傾向にあったが、令和2年は、大幅に減少
- 死者数は、平成30年に過去最少の25人まで減少するも、令和元年に34人に増加（令和2年も同数）
- 現行計画の目標「自転車乗用中死者数20人以下」及び「自転車事故発生件数8,000件以下」（は未達成、「駅前放置自転車台数20,000台以下」（は達成



1 計画の位置付け

「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車の安全利用に関する都の施策や自転車利用者、事業者等の取組を

総合的に推進するための計画（計画期間：令和3年度から令和7年度までの5か年）

2 計画の目標

自転車乗用中死者数「18人以下」（改定前から▲2人） 自転車事故発生件数「7,000件以下」（改定前から▲1,000件）
駅前放置自転車台数「15,000台以下」（改定前から▲5,000台）

※なお、新たな計画目標は、第11次東京都交通安全計画との整合を図りながら設定

※第11次東京都交通安全計画に合わせて改定、公表時期は東京都自転車活用推進計画と整合

『未来の東京』戦略
戦路8 安全・安心なまちづくり戦略
交通事故から都民を守るプロジェクト

改定東京都自転車安全利用推進計画の概要について

1 「新しい日常」に対応した自転車安全利用の促進

コロナ禍により、フードデリバリー、自転車シェアリング、通勤・通学等の自転車利用に関心が高まり、安全利用が課題

- 関連団体と連携した交通ルール・マナーの徹底等、**デリバリー配達員**に対する自転車安全利用の促進
- 自転車シェアリング事業者への動画コンテンツの提供等、**自転車シェアリング利用者**への安全利用促進
- リモートによる講習会の開催等、業務や通勤で自転車を利用する**従業者**に対する自転車安全利用の強化
- 警視庁等と連携した自転車安全利用教室の開催等、**学校**における自転車安全利用の強化

2 社会全体での自転車安全利用の気運醸成

自転車に関わる主体である行政・自転車利用者・事業者等が安全利用推進の担い手となった取組の推進

- 「**東京都自転車安全利用サポーター**」を拡充等、さらなる安全利用の機運醸成
- 商業施設等における自転車安全利用教室の開催等、**関連団体と連携**した自転車安全利用の促進
- 生涯教育部門を通じた自転車安全利用の周知啓発等、**高齢者**に対する自転車安全利用の促進
- 人口あたり事故件数の多い高校生のヘルメット着用へのルール化促進等、**ヘルメット着用**の普及啓発強化
- 多くの世代に訴求するため様々な媒体を活用する等、義務化した**自転車損害賠償保険等への加入促進**

3 放置自転車対策

現行計画の目標は達成するも未だ多くの放置自転車が存在

- 鉄道事業者や関係団体と連携した**駅前放置自転車クリンキャンペーン**の効果的展開
- ホームページを活用した**駐輪場情報の提供等**、通勤・通学時の適切な駐輪の促進

4 継続的な調査及び調査結果に基づく施策展開

「新しい日常」の浸透による社会生活の変化などに適切に対応するため、**自転車の利用形態を継続的に調査し**、その結果を踏まえ、柔軟に自転車安全利用施策を展開していく

駅前放置自転車クリーンキャンペーン標語選定委員会 選考結果
(各賞候補)

議案 1

選考結果は以下のとおり。

なお、大賞は第38回駅前放置自転車クリーンキャンペーンの標語として使用する。

各賞区分	作品	応募者による制作意図
大賞 (新標語)	自転車の 代わりに置こう 思いやり	他人を思いやれば自転車を放置はしないと思いました
優秀賞	ありがとう 自転車置かない 思いやり	すっきりとした気持ちの良い放置ゼロの街を目指す
優秀賞	すっきりと気持ちよい街放置ゼロ	放置しないで！とやめるように訴えるよりも、協力に対して「ありがとう」と感謝の言葉を伝えたい。
優秀賞	ありがとう 放置やめたら みな笑顔	一人一人の思いやり、ありがとうの気持ちで自転車ゼロを目指す気持ちを込めました。
ジュニア部門賞	あぶないよ そのばしよ とめちや とおれない	放置自転車の危険性などを説明したら6歳の息子が考えました。いつも会う車イスのおじいちゃんの事や白杖を持って歩いている方などの事を説明したら7歳なりに考える事があつたようです。
シニア部門賞	その行為、子どもが見てます、真似します	一緒にいるお子さんにはどう説明なさるのかしら

第38回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施大綱（案）

1 目的

放置自転車は、歩行者や緊急車両の通行を阻害するとともに、街の美観を損ねるなど社会問題となっている。これまで、区市町村や関係機関等の地道な努力により放置自転車の状況は改善しているものの、都内では依然として約2.1万台の自転車等（うち、自転車は約1.9万台）が駅周辺に放置されている。

このため、東京都では「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車通勤する従業者の駐輪場所の確保・確認や顧客に対する駐輪場利用の啓発等を事業者の責務と規定するなど、社会全体による放置自転車対策を推進しているところである。

さらに、東京都自転車安全利用推進計画において、令和3年度から令和7年度までの5か年で駅前放置自転車の台数を1.5万台以下にすることを目標に掲げている。

こうした中、放置自転車問題を広く都民に訴えるため、関係機関等が相互に協力して、駅前放置自転車クリーンキャンペーン（以下「キャンペーン」という。）を実施する。

2 実施内容

(1) 別紙1のとおりとする。

地域別、機関等別の具体的な実施内容は、各機関・団体が作成する「実施計画」で定める。

(2) 活動の重点は次のとおりとする。

広報活動及び駅前放置自転車の撤去等

(3) 統一標語は議案1が承諾された場合、次のものを使用する。

「自転車の 代わりに置こう 思いやり」

3 実施時期

令和3年10月22日（金曜日）から同月31日（日曜日）までの10日間とする。また、キャンペーンの事前周知活動もあわせて実施する。

4 実施・参加機関等

(1) 実施・参加機関等は次のとおりとする。

主 催：東京都・区市町村

構成団体：国土交通省（東京・相武国道事務所）、警視庁、東京消防庁、東日本旅客鉄道（株）、（一社）日本民営鉄道協会（関東鉄道協会）、（一社）東京バス協会、（一社）東京ハイヤー・タクシー協会、東京商工会議所、東京都商工会連合会、東京都商店街振興組合連合会、（一財）自転車産業振興協会、東京都自転車商協同組合、（一社）全国銀行協会、関東百貨店協会、（一財）日本自転車普及協会、（一社）日本二輪車普及安全協会、（一財）東京都交通安全協会、東京都公立高等学校長協会、（一財）東京都私立中学高等学校協会、東京都町会連合会、（一社）東京宝くじ協会、（公財）自転車駐車場整備センター、（一社）東京母の会連合会、（公社）東京都専修学校各種学校協会、（公財）東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）、（公社）東京都老人クラブ連合会、東京都障害者団体連絡協議会（東京都肢体不自由児者父母の会、東京都盲人福祉協会）、東京消費者団体連絡センター ※順不同

協力団体：(一社) 東京都個人タクシー協会、日本チェーンストア協会、(一社) 自転車協会、
(公財) 東京都道路整備保全公社、(一社) 自転車駐車場工業会 ※順不同

(2) 各実施・参加機関等の役割は別紙2のとおりとする。

5 実施計画の策定

(1) 実施機関等は、この大綱及び別に定める駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施計画策定要領に基づき、それぞれ実施計画を策定し、駅前放置自転車クリーンキャンペーン幹事会において報告する。

(2) 区市町村実施計画に関する事項は以下のとおりとする。

ア 区市町村実施計画の中に、区市町村以外の機関・団体の実施又は協力すべき事項を採り入れる場合には、関係機関相互の連携を高めるため、区市町村が中心となって、「〇〇区(市町村)駅前放置自転車クリーンキャンペーン推進委員会」等の連絡、調整機関を設けるよう努めるものとする。

イ 区市町村以外の機関・団体等は、区市町村実施計画について協力の要請があったときは、可能な限り応じるものとする。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、より感染のおそれの少ない実施方法の選択や、街頭での活動にあたっては着実に感染予防対策を講じるなど、感染拡大防止に努めるものとする。

6 首都圏駅前放置自転車クリーンキャンペーンの実施

首都圏駅前放置自転車対策協議会加盟の隣接3県(埼玉県・千葉県・神奈川県)及び5政令指定都市(横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、さいたま市)は密接に連携し、クリーンキャンペーンを統一実施する。

駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施内容

1 広報活動

(1) 印刷物

①ポスターの掲示

各駅構内、電車・バスの車内、その他公共的施設等に掲示する。

②リーフレットの配布

各駅周辺や各参加機関・団体の窓口等において配布する。

③広報紙等への掲載

各参加機関・団体が発行している広報紙・機関紙やホームページ等にキャンペーンの内容を掲載する。

(3) テレビ・ラジオ等

東京都提供のテレビ・ラジオ番組等で放置自転車問題について放送する。

(4) 報道関係への情報提供（プレス）

①キャンペーンの実施について各報道機関へ情報提供する。

②放置自転車の実態、キャンペーンの実施の様態等について広く都民に周知するよう働きかける。

(5) その他

①広報用品の配布

②その他

地域や参加団体の実情に対応した広報活動を行う。

「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の趣旨を踏まえ、事業者等への広報活動を行う。

例：広報車、パレード、横断幕の掲出、町内掲示板へのポスター掲示、リーフレットの配布、駅構内・車内放送による広報、駅頭指導・呼びかけなど

2 放置自転車等の撤去、保管、返還、処分

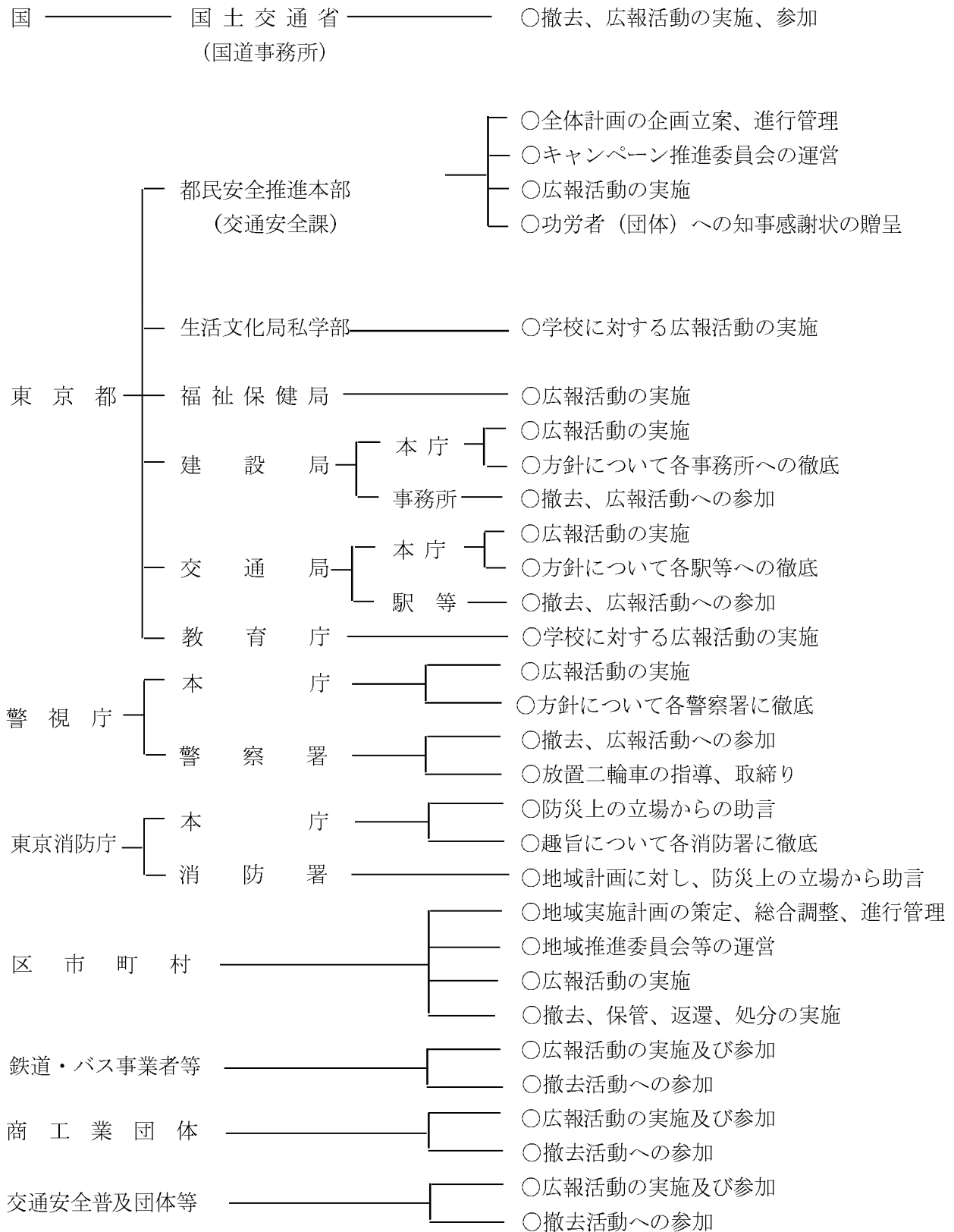
撤去の対象駅、実施期日、撤去の方法、必要人員、必要機材、参加団体の範囲及び役割分担、撤去自転車等の保管場所、返還方法、処分方法等の具体的内容については、区市町村ごとに「実施計画」で定める。なお、計画の立案についての要領は別に定める。

3 その他

(1) 放置自転車対策功労団体・功労者への知事感謝状贈呈

区市町村からの推薦に基づき、地域の放置自転車対策事業に積極的に協力及び貢献している方々に対して、知事名による感謝状を贈呈する。

実施・参加機関等の役割



第38回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施計画策定要領（案）

1 実施計画策定の基本的な考え方

- (1) 実施計画は、「駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施大綱」に沿って策定すること。
- (2) 各団体は、可能な限り多様な内容を計画に盛り込むよう努力すること。
- (3) 今年度は、計画時と報告時に同一の様式を使用することとした。実施報告時には計画時に記入した内容を更新して提出すること。

2 活動内容

(1) 広報活動

広く都民に周知するため、可能な限り多様な広報媒体等を活用すること。

【例】○マスコミへの情報提供

積極的な報道発表及び取材協力

○テレビ・ラジオ等の利用

テレビ・ラジオでの放送、車内・駅構内等での放送、広報車等の活用

○印刷物の作成・掲出、配布

ポスター、リーフレット、広報紙（誌）、機関・団体紙（誌）等の作成、配布

○駅頭での呼びかけ等

駅頭での指導・呼びかけ、パレードの実施、「歩こう運動」等住民運動の推進等

○その他

講演会等の実施、広報用品の配布、関係先への呼びかけ等

(2) 放置自転車等の撤去、保管、返還、処分

放置自転車等の撤去場所（駅）、期日、方法、体制（人員、機材、参加団体の範囲及び役割分担）のほか、保管場所、返還方法、処分方法等は、関係機関と協議しつつ、区市町村が従前から実施している方法を基準として定めるものとする。

(3) その他

各団体は、それぞれの下部組織・団体又は協力団体等に対し、本キャンペーンについての周知徹底、参加協力等の指示又は要請をできるだけ早期に広範囲に行うものとする。

なお、例年配付しているポケットティッシュについては、製作・配付を行わないことになりましたので御了承下さい。

3 実施計画書の作成

実施計画書の作成に当たっては、別紙1を参考とすること。

4 実施計画書の提出

(1) 提出期限 令和3年7月21日（水曜日）

(2) 提出方法 メールでご提出ください。

(3) 提出部数 1部

(4) 提出先 東京都 都民安全推進本部 総合推進部 交通安全課 担当：嶋貫・佐藤

〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号 第1本庁舎北塔34階

電話 03-5321-1111（内線）21-792

FAX 03-5388-1217

メール S1060104@section.metro.tokyo.jp

【区市町村用（別記様式1）】

1 クリーンキャンペーンのための組織

令和2年度版「駅前放置自転車の現況と対策」P61、62の協議会等の下部組織（地域支部等）を指します。

2 駅頭広報活動・撤去等活動（移送・移動も含む。）

(1) 駅頭広報活動・撤去等実施予定の路線名・駅名を記入の上、参加団体のセルに「○」をご記入下さい。実施予定の駅が多く、記入欄が足りない場合は複写対応をお願いします。また、都ホームページへの掲載可否について、どちらかに丸を付けて下さい。

(2) 自動車延べ動員数について、広報活動や撤去等活動に利用する車両数（車両利用数）をご記入下さい。

(3) 駅前放置自転車クリーンキャンペーン期間中（10月22日から31日まで）は実施予定の日付に「○」を付けてください。キャンペーン期間前後に実施予定の場合は、その日付をご記入ください。

3 広報媒体等

(1) 印刷物、看板等

- 区市町村で掲載予定の広報紙等について、名称や発行時期、掲載回数をご記入ください。
- ホームページについて、当該ホームページや掲載予定期間を記入ください。
- ポスター、リーフレットについては、都作成分、（区市町村）独自作成分、自転車駐車場整備センター作成分等の別に、種類や枚数をご記入ください。
- 注意・警告札、看板、横断幕、のぼり旗について、活用する種類や枚数をご記入ください。

(2) 広報媒体

報道発表やテレビ・ラジオ等を活用した広報活動、住民運動や講演会等の予定をご記入ください。

※4～6については、実施報告時にご記入ください。

【鉄道・バス事業者用（別記様式2）】

1 広報紙（誌）・メールマガジン、ホームページ等への掲載予定をご記入ください。なお、発行数等については、実施報告時にご記入ください。

2 独自作成のポスター、リーフレット、PR用配布品等
独自作成の取組がある場合は、ご記入下さい。

3 都作成のポスター、リーフレットの活用

都が作成し配布するポスターの数量を「車内」「駅構内（停留所、営業所、案内所を含む。）」「その他（本社執務室等）」の別にご記入ください。

4 車内・駅構内の放送について

放送について、「車内」「駅構内（停留所、営業所、案内所を含む。）」や「都が作成する動画の活用」について、ご記入ください。

5 駅頭活動

駅ごとの活動状況をご記入ください。なお、都ホームページへの掲載可否について、どちらかに丸を付けて下さい。

6 その他の活動

都作成のリーフレットの活用含め、その他の活動が予定されている場合は、ご記入下さい。

※7の意見欄は実施報告時にご記入ください。

【区市町村以外の団体用（別記様式3）】

1 広報紙（誌）・メールマガジンの発行、ホームページ等への掲載

なお、発行数等については、実施報告時にご記入ください。

2 独自作成のポスター、リーフレット、PR用配布品等

独自作成の取組がある場合は、ご記入下さい。

3 都作成のポスターの活用

都が作成し配布するポスター数量、掲出先・配布先についてご記入下さい。

4 自転車駐車場整備センター作成のポスターの活用

自転車駐車場整備センターが作成し配布するポスター数量、掲出先・配布先についてご記入下さい。

5 都作成のリーフレット活用

都が作成し配布するリーフレットの数量、掲出先・配布先についてご記入下さい。

6 駅頭活動駅ごとの取組内容と併せて都ホームページへの掲載可否について、ご記入下さい。

7 その他の活動

その他の活動を予定している場合は、ご記入下さい。

※8の意見欄は実施報告時にご記入ください。

第38回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン 実施計画書兼報告書

本様式は、実施計画と実施報告を兼ねる形式としました。実施計画時に記載・提出していただいた内容を、キャンペーン実施後の実施報告時は、更新して提出いただくこととなります。

区市町村名	部課係名	
	担当者名	
	電話番号	

実施計画書作成日 令和 年 月 日

実施報告書作成日 令和 年 月 日

1 クリーンキャンペーンのための組織

【令和2年度版「駅前放置自転車の現況と対策」P61、62の協議会等の下部組織(地域支部等)を指す。】

名称	発足日	総構成員数 (委員等)	構成員の役職名

2 駅頭広報活動・撤去等活動（移送・移動も含む。）（黄色セルは実施報告時に記載）

(1) 撤去・移送台数及び駅頭広報活動・撤去等活動参加人数

(注) *1: 駐輪場内の撤去分を含む。 *2: 区市町村が委託した高齢者事業団、運送業者等を含む。 *3: 「その他」に該当する場合、詳細は備考欄に記載する。

*4: 区市町村の総駅数とキャンペーン実施駅数（複数路線の同一駅名は1と数える）を記入する。

※都ホームページへの掲載可 / 否（どちらかに○）

路線名	駅名	実施（予定）駅		撤去活動		撤去・移送台数		*1		駅頭広報活動					参加団体			備考			
		実施予定	原付・二輪（台）	自転車（台）	計	区町村	計	区町村	自治会	警察	東京都（除交通局）	鉄道（含交通局）	バス事業者	国道（国道事務所）	交通安全協会	その他	計				
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					
21																					
22																					
23																					
24																					
25																					
26																					
27																					
28																					
29																					
30																					
区市町村内に所在する駅数 *4										計											
総駅数										計											
活動実施駅数 *4										計											
駅頭広報活動										計											
撤去等活動										計											
活動延べ日数										計											
駅頭広報活動										計											
撤去等活動										計											
0日										計											
0日										計											

実施計画時：実施予定駅のセルに「○」を記載ください。
実施報告時：参加人数を記載ください。

実施計画時：実施予定駅のセルに「○」を記載ください。

広報活動予定又は撤去活動予定の駅名等を記載

(2) 自動車延べ動員数

車両利用数（延べ台数）	
合計	0台
広報車	
トラック（撤去用）	
その他	

(3) キャンペーン実施（予定）日

期間前（キャンペーンに位置付けた活動日を記載）	キャンペーン期間中（実施する（した）日付に○を記載）					期間後（キャンペーンに位置付けた活動日を記載）			
22日(木)	23日(金)	24日(土)	25日(日)	26日(月)	27日(火)	28日(水)	29日(木)	30日(金)	31日(土)
駅頭広報活動									
撤去等活動									

3 広報媒体等(黄色セルは実施報告時に記載)

(1) 印刷物、看板等

掲載データ又は掲載イメージ(フルカラー)を電子データで添付

区市町村広報紙(誌)		その他の広報紙(誌)		ホームページ		ポスター			リーフレット		
名称		名称1		URL(ウェブアドレス)		①都作成分			①都作成分		
発行時期	年月	発行時期1	年月			②独自成分			②独自(駐輪場案内)		
掲載回数	延発行部数	掲載回数1	延発行部数1	掲載(予定)期間		③自転車駐車場整備センター成分			③独自(その他)		
		名称2				番号	種類	枚数	番号	種類	枚数
		発行時期2	年月								
		掲載回数2	延発行部数2	アクセス数							
注意・警告札		看板		横断幕		活動品(タスキ、ジャンパー等)					
種類	枚数	種類	枚数	種類	枚数	品名	種類	数量			
						独自作成のポケットティッシュなど、啓発用配布品を記載してください					
				のぼり旗		配布品					
				種類	枚数	品名	種類	数量			

4 【実施報告時に記載】住民からの苦情・問い合わせ状況(キャンペーン期間中)

* 枠が足りない場合は、複写して次ページに記入してください。

種 別	件 数	主 な 内 容
苦 情		
問 合 せ		
意 見 要 望		
そ の 他		
合 計		

5 自由意見欄

* クリーンキャンペーンについての意見・要望を記入する。

6 【実施報告時に記載】プレス取材の有無

有	<input type="checkbox"/>	無	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------	---	--------------------------

* 報道発表、取材協力、テレビ・ラジオの放送について記入する。

新聞社・テレビ局名等	掲 載 日 時 ・ 放 映 時 間 等

第38回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン 実施計画書兼報告書

本様式は、実施計画と実施報告を兼ねる形式としました。実施計画時に記載・提出していただいた内容を、キャンペーン実施後の実施報告時は、更新して提出いただくこととなります。

団体名	部課係名	
	担当者名	
	電話番号	

実施計画書作成日 令和 年 月 日

実施報告書作成日 令和 年 月 日

1 広報紙等への掲載

- * キャンペーン記事を掲載する(した)印刷物等を記載してください。
- * メールマガジンについては、配信数を「発行数等」欄に記載してください。
- * ホームページについては、アクセス数を「発行数等」欄に記載してください。実施報告時には、掲載データ又は掲載イメージ(フルカラー)を送付してください。
- * SNSについては、フォロワー数を「発行数等」欄に記載してください。

種 別	名 称	発行数等	発行日・掲載期間	対象読者層
広報紙(誌)、会報等				
メールマガジン				
ホームページ				
SNS				
その他				

2 独自作成のポスター、リーフレット、PR用配布品等

種 別	名 称・規 格	数量等	掲出先・配布先等
ポスター			
リーフレット			
PR配布品			
デジタルサイネージ・モニター表示			
その他			

3 都作成のポスターの掲出

(1) 車内

* 枠が足りない場合は、複写して次ページに記載してください。

路線名	①1車両あたり	②車両数	掲出枚数 ①×②	掲出開始(予定)日	掲出終了(予定)日
	枚	両	枚		
	枚	両	枚		
	枚	両	枚		
	枚	両	枚		
	枚	両	枚		
	枚	両	枚		

(2) 駅構内(停留所、営業所、案内所を含む。)

* 都電荒川線やバスの停留所で掲出する(した)場合は、記載してください。

* バスの営業所や案内所で掲出する(した)場合は、記載してください。

* 枠が足りない場合は、複写して次ページに記載してください。別紙での対応も可能です。

駅名等	掲出箇所	掲出枚数	掲出開始(予定)日	掲出終了(予定)日
	箇所	枚		
	箇所	枚		
	箇所	枚		
	箇所	枚		
	箇所	枚		
	箇所	枚		

(3) その他(本社執務室等)

名称等	掲出箇所	掲出枚数	掲出開始日	掲出終了日
	箇所	枚		
	箇所	枚		

別記様式2【鉄道・バス事業者用】

4 車内・駅構内放送

(1) 車内

* 枠が足りない場合は、複写して次ページに記載してください。

路線名	放送時間帯	放送開始日	放送終了日	1回あたりの秒数

計 路線

(2) 駅構内(停留所を含む。)

* 枠が足りない場合は、複写して次ページに記載してください。

駅名等	放送時間帯	放送開始日	放送終了日	1回あたりの秒数

実施計画時では、「○
○駅ほか●箇所」等の
書き方で結構です。

計 駅、停留所

(3) 都作成動画の活用

駅名等	放送時間帯	放送開始日	放送終了日

実施計画時では、「○
○駅ほか●箇所」等の
書き方で結構です。

(4) その他

名称等	放送時間帯	放送開始日	放送終了日
箇所			
箇所			

別記様式2【鉄道・バス事業者用】

5 駅頭活動(鉄道・バス事業者が参加したもの。)(黄色セルは実施報告時に記載)

※都ホームページへの掲載 可 / 否 (どちらかに○)

* 枠が足りない場合は、複写して次ページに記載してください。

①活動場所(駅名)	②参加日	参加延日数 ①×②	参加延人員	活動内容
		日	人	
	実施報告時に記載	日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	

6 その他の活動

事 項 名	規模・内容等
(1)都作成のリーフレットの活用	配布数 配布先

7 意見欄(黄色セルは実施報告時に記載)

* クリーンキャンペーンについての御意見・御要望を記載してください。

第38回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン 実施計画書兼報告書

本様式は、実施計画と実施報告を兼ねる形式としました。実施計画時に記載・提出していただいた内容を、キャンペーン実施後の実施報告時に更新して、提出いただくこととなります。

団体名	部課係名	
	担当者名	
	電話番号	

実施計画書作成日 令和 年 月 日

実施報告作成日 令和 年 月 日

1 広報紙等への掲載

- * キャンペーン記事を掲載する(した)印刷物等を記載してください。
- * メールマガジンについては、配信数を「発行数等」欄に記載してください。
- * ホームページについては、アクセス数を「発行数等」欄に記載してください。実施報告時には、掲載データ又は掲載イメージ(フルカラー)を送付してください。
- * ツイッターについては、フォロワー数を「発行数等」欄に記載してください。

種 別	名 称	発行数等	発行日・掲載期間	対象読者層
広報紙(誌)、会報等				
メールマガジン				
ホームページ				
ツイッター				
その他				

0

2 独自作成のポスター、リーフレット、PR用配布品等

種 別	名 称・規 格	数量等	掲出先・配布先等
ポスター			
リーフレット			
PR配布品			
デジタルサイネージ・モニター表示			
その他			

別記様式3【構成団体・協力団体用】

3 都作成のポスターの掲出

規格	掲出先	掲出箇所	掲出枚数	掲出開始	掲出終了
		箇所	枚		
		箇所	枚		
		箇所	枚		
		箇所	枚		
		箇所	枚		

4 自転車駐車場整備センター作成のポスターの掲出

規格	掲出先	掲出箇所	掲出枚数	掲出開始	掲出終了
		箇所	枚		
		箇所	枚		
		箇所	枚		

5 都作成のリーフレットの配布

配布先	配布箇所	配布個数
	箇所	枚
	箇所	枚
	箇所	枚
	箇所	枚
	箇所	枚

別記様式3【構成団体・協力団体用】

6 駅頭活動(構成・協力団体が参加したもの)(黄色セルは実施報告時に記載)

※都ホームページへの掲載 可 / 否 (どちらかに○)

* 枠が足りない場合は、複写して次ページに記載してください。

①活動場所(駅名)	②参加日	参加延日数 ①×②	参加延人員	活動内容
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	
		日	人	

0 0

7 その他の活動

事項名	規模・内容等

8 意見欄

* クリーンキャンペーンについての御意見・御要望を記載してください。

駅前放置自転車クリーンキャンペーン標語の継続使用について

1 これまでの統一標語使用の経緯

- 駅前放置自転車クリーンキャンペーンでは、昭和60年（第2回）から平成7年（第12回）まで、標語を一般募集し、翌年のキャンペーンに使用
- 平成8年（第13回）からは、「困ります！ 自転車置きざり 知らんぷり」の標語を使用
- 平成29年度に統一標語を公募し、平成29年度の第34回から令和2年度の第37回までは、「放置ゼロ キレイな街で おもてなし」を使用
- 令和2年度の推進委員会（書面開催）において、統一標語の公募を決定。
- 平成29年度の第34回駅前放置自転車クリーンキャンペーン推進委員会の決定において、標語の使用期間等は以下のとおり定められている。
 - ・ 標語の使用期間は概ね5回（5年間）を原則
 - ・ 次年度の継続使用の適否について、各回（毎年度）の推進委員会において検討し、検討結果は次回の実施大綱（案）に反映

2 駅前放置自転車クリーンキャンペーン標語の継続使用について

令和4年度第39回駅前放置自転車クリーンキャンペーンで使用する統一標語については、引き続き、「**自転車の 代わりに置こう 思いやり**」を使用することとしたい。

駅前放置自転車クリーンキャンペーン推進委員会設置要綱

昭和59年5月16日59生文企交第23号
改正 平成31年3月25日30青総総第782号

(設置)

第1 放置自転車問題を広く都民に訴えるための「駅前放置自転車クリーンキャンペーン」を関係機関・団体が相互に協力して実施するため、駅前放置自転車クリーンキャンペーン推進委員会（以下「推進委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2 推進委員会は、次の事項を所掌する。

- (1) 駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施大綱の策定
- (2) 関係機関・団体が策定する「クリーンキャンペーン実施計画」の調整
- (3) その他駅前放置自転車クリーンキャンペーンの実施に必要な事項

(構成)

第3 推進委員会は、会長及び委員をもって構成する。

2 委員は、別表1に掲げる関係機関・団体の推薦を得て東京都都民安全推進本部長が委嘱する者及び別表2に掲げる職にある者をもって充てる。

(任期)

第4 委員の任期は、委嘱をした日の属する年度の翌年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

2 任期中途中で委員を変更する場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5 会長は、東京都都民安全推進本部長をもって充てる。

2 会長に事故があるときは、会長が指定する委員がその職務を代理する。

(招集等)

第6 推進委員会は、会長が招集し、主宰する。

(幹事会)

第7 推進委員会に幹事会を置く。

2 幹事会は、推進委員会から付託を受けた事項について協議・調整する。

3 幹事会は、幹事をもって構成する。

4 幹事は、別表1に掲げる関係機関・団体の推薦を得て東京都都民安全推進本部長が委嘱する者及び別表3に掲げる職にある者をもって充てる。

5 幹事の任期は、委員の任期を準用する。

6 幹事会は、東京都都民安全推進本部治安対策担当部長が招集し、主宰する。

(標語選定委員会)

第8 幹事会に標語選定委員会を置く。

2 標語選定委員会は、駅前放置自転車クリーンキャンペーン統一標語について協議・調整する。

3 標語選定委員会は、別表1の1区代表1名、同市代表1名、別表1の2鉄道・バス等事業者代表1名、別表1の3商工業団体代表1名、別表1の4交通安全普及団体等代表1名、別表3代表4名及び首都圏放置自転車対策協議会代表1名により構成する。

4 標語選定委員長は、東京都都民安全推進本部治安対策担当部長をもって充てる。

5 標語選定委員会は、標語選定委員長が招集し、主宰する。

6 標語の募集及びその他の事務は、東京都都民安全推進本部総合推進部交通安全課が行う。

(公開等)

第9 推進委員会、幹事会及び標語選定委員会は、公開で行うものとする。ただし、推進委員会幹事会及び標語選定委員会の決定により非公開とすることができる。

2 推進委員会、幹事会及び標語選定委員会の会議録等は、公開するものとする。

(庶務)

第10 推進委員会の庶務は、東京都都民安全推進本部総合推進部交通安全課において処理する。

(その他)

第11 この要綱に定めるもののほか、推進委員会の運営に必要な事項は、東京都都民安全推進本部長が定める。

附 則

1 この要綱は、昭和59年5月16日から施行する。

2 要綱第4の規定にかかわらず、当初の委員及び幹事の任期は、昭和60年3月31日までとする。

附 則 (60生文総交第20号)

この要綱は、昭和60年5月2日から施行する。

附 則 (61生文総交第35号)

この要綱は、昭和61年5月27日から施行する。

附 則 (62生文総交第19号)

この要綱は、昭和62年5月13日から施行する。

附 則 (2生文総交第254号)

この要綱は、平成2年8月1日から施行する。ただし、第3及び第5の第2項の改定規定は平成2年7月19日から施行する。

附 則 (7生文総交第56号)

この要綱は、平成7年5月9日から施行する。

附 則 (8生文総交第14号)

この要綱は、平成8年5月10日から施行する。

附 則 (10生文総交第23号)

この要綱は、平成10年5月18日から施行する。

附 則 (11生文総交第327号)

1 この要綱は、平成12年1月1日から施行する。

2 東京都情報公開条例(平成11年東京都条例第5号)の公布の日前に開催された委員会及び幹事会の会議録等の取扱いについては、この要綱による改正後の駅前放置自転車クリーンキャンペーン推進委員会設置要綱第8第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (12生文総交第19号)

この要綱は、平成12年4月18日から施行する。

附 則 (13生都協交第5号)

この要綱は、平成13年4月18日から施行する。

附 則 (16生文総安第3号)

この要綱は、平成16年4月5日から施行する。

附 則 (16生文総安第199号)

この要綱は、平成16年8月13日から施行する。

附 則 (17生文総安第172号)

この要綱は、平成17年8月1日から施行する。

附 則 (17青青総第459号)

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (18 青総総第 766 号)

この要綱は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (22 青総総第 13 号)

この要綱は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (22 青総総第 182 号)

この要綱は、平成 22 年 7 月 16 日から施行する。

附 則 (24 青総総第 140 号)

この要綱は、平成 24 年 6 月 22 日から施行する。

附 則 (25 青総総第 34 号)

この要綱は、平成 25 年 4 月 23 日から施行する。

附 則 (27 青総総第 31 号)

この要綱は、平成 27 年 4 月 20 日から施行する。

附 則 (28 青総総第 421 号)

この要綱は、平成 28 年 12 月 16 日から施行する。

附 則 (30 青総総第 782 号)

この要綱は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

別表 1

- 1 行政機関
国土交通省（国道事務所）
警視庁
東京消防庁
区代表（5区）
市代表（5市）
町村代表（1町村）
- 2 鉄道・バス等事業者
東日本旅客鉄道㈱
（一社）日本民営鉄道協会（関東鉄道協会）
（一社）東京バス協会
（一社）東京ハイヤー・タクシー協会
- 3 商工業団体
東京商工会議所
東京都商工会連合会
東京都商店街振興組合連合会
（一財）自転車産業振興協会
東京都自転車商協同組合
（一社）全国銀行協会
関東百貨店協会
- 4 交通安全普及団体等
（一財）日本自転車普及協会
（一社）日本二輪車普及安全協会
（一財）東京都交通安全協会
東京都公立高等学校長協会
（一財）東京私立中学高等学校協会
東京都町会連合会
（一社）東京宝くじ協会
（公財）自転車駐車場整備センター
（一社）東京母の会連合会
（公社）東京都専修学校各種学校協会
（公財）東京しごと財団
（公社）東京都老人クラブ連合会
東京都障害者団体連絡協議会
東京消費者団体連絡センター

別表 2

東京都都民安全推進本部治安対策担当部長
東京都生活文化局私学部長
東京都福祉保健局生活福祉部長
東京都建設局道路管理部長
東京都交通局電車部長
東京都教育庁指導部長

別表 3

東京都都民安全推進本部総合推進部交通安全課長
〃 違法駐車対策担当課長
〃 交通安全対策担当課長
〃 交通安全対策担当課長
東京都生活文化局私学部私学行政課長
東京都福祉保健局生活福祉部福祉のまちづくり担当課長
東京都建設局道路管理部監察指導課長
東京都交通局電車部営業課長
東京都教育庁指導部高等学校教育指導課長